

7/25
2018年第1305号
(毎月5、15、25日発行)

2018
サマーセミナー

予防へのパラダイムシフト 日本の予防歯科政策の課題

8月26日(日)午後1時～M&Dホール

協会は8月26日、「日本の予防歯科政策の課題」をテーマにM&Dホールでサマーセミナーを開催する。講師は、予防歯科政策が専門の安達奈穂子氏(東京医科歯科大学医歯学総合研究科口腔疾患予防分野助教)。協会は会員、スタッフらの多くの参加を呼び掛けている。

江原豊政策部長の呼びかけ



病やケガを予防することだど誰もが同意できるのではないのでしょうか。特に予防歯科政策の課題、今後

に歯科における予防の重要性は言うまでもありません。しかし、日本の医療における予防への取り組みは、十分とは言えない現状があります。もちろん日本の医療保険制度は原則疾病保険ですが、自治体の公衆衛生の取り組みを見てもその十分さは否めません。

安達氏には、予防のそもそも論から、日本の予防歯科政策の課題、今後

サマーセミナーでは、医療・社会保障制度の問題や様々な時事問題などをテーマに取り上げ、参加した先生方と一緒に学び、今後の歯科医療制度や日本の未来について、お互いの意見を交流出来たらと思っています。

今年、予防歯科政策を専門に研究しておられる東京医科歯科大学助教授の安達奈穂子氏を講師にお招きし、日本の予防歯科の政策的課題と歯科医療の未来を考えたいと思



講師 安達奈穂子

歯科衛生士、東京医科歯科大学医歯学総合研究科口腔疾患予防分野助教。千葉県出身。東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻修了(博士(医学))。

の歯科医療の在り方などを自由にお話しただろうと考えています。ぜひ、多くの先生、スタッフの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】8月26日(日)午後1時～3時
【会場】M&Dホール
【定員】100人
【参加費】会員・スタッフ無料
【申し込み】協会事務局(06-6568-7731)

巨大広告代理店に操作される改憲国民投票

本間 龍(作家)

前回は、国民投票法における最大の課題は、広告規制が殆ど無いことだと解説した。広告規制がなければ、資金力がある方が広告代理店を通じてあらゆるメディアの広告枠を購入することができる。そして、その資金力が豊富な改憲派であることははっきりしている。当然、このうちの何割かは広告宣

伝に使われる。だが、実は脅威は金額だけではない。その潤沢な資金を運用するのが、単独では世界最大の広告代理店である「電通」で

資金力で広告枠を独占

あることが改憲派の最大の強みとなる。電通と国民党のつき合いは1950年代からであり、自民党の広告宣伝は一貫して同社が担当してきた。だから自民党が中心とな

電通とメディア各社の売り上げ高

電通	5兆2千億円(連結)
博報堂	1兆2千億円
フジテレビ	6400億円
朝日新聞社	4700億円
TBS	3500億円
ADK	3400億円
日テレ	3400億円
テレビ朝日	2600億円

お知らせ
次号8月5日付は同15日付と合併して発行し、8月10日に届けます。協会は13～16日まで夏季休業となります。

70歳以上の窓口負担上限が変更

8月から大幅引き上げ

8月1日から70歳以上の高齢者の窓口負担の月額上限が引き上げられる。所得区分「現役並み」

では、70歳未満の同所得区分と同様の負担となる。また、「一般」では、外来における個人の月額負担増となる。

会員限定

「歯援診」の施設基準研修会

「か強診」の一部要件にも対応

協会は「在宅療養支援歯科診療所」の施設基準に係る研修会を9月15日に開く。同研修会は「か強診」の一部要件にも対応する(該当する要件の詳細は3面行事案内)。

【日時】9月15日(土)午後6時～8時
【講師】足立平氏(神戸常盤大学短期大学部口腔保健学教授)
【会場】M&Dホール
【定員】100人
【会費】3千円
【内容】①高齢者の心身の特性(認知症に関する内容を含む)、口腔機能の管理、緊急時の対応②歯科疾患の重症化予防に資する継続的管理(口腔機能管理を含む)

負担上限が従来の1万4000円から1万8000円に引き上げられる。これまで「現役並み」での個人の外来月額負担は5万7600円上限であり、制度改悪により年収によって2～3倍の負担増となる。

歯界

静かな自然に囲まれた風情ある夏の夜、暗闇に浮かぶ幻想的なホテルの光を眺めると心が癒される。

人は特定の「ゆらぎ」に対して癒しを感じるといふ研究がある。「1/fのゆらぎ」というものだ。「1/fのゆらぎ」の歌声という触れ込みが音楽業界で流行ったことがあるが、ホテルの発光もこの「ゆらぎ」に沿っているらしい。そよ風、川のせせらぎや潮騒など自然に存在する心地よいと感じるものにはこのゆらぎが見られるようだ。ホテルの発光パターンを解析し、癒し空間を提供できるとして、バーチャルホテルイルミネーションロボットが開発された。「1/fのゆらぎ」の効果は、研究途中のことだが、解明されればストレス社会の緩和に繋がるかもしれない。